

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	福祉部高齢福祉課
施設名称	13	東京都台東区立特別養護老人ホーム谷中	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区谷中2-17-20 [規模] 延べ床面積 2,794.36㎡のうち2,351.4㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、静養室、ボランティア室、談話室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護（排泄・入浴援助）}、地域ボランティア活動支援等併設事業として短期入所生活介護の運営等 [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 44名 (内 訳) 施設長(1)、医師(嘱託)、生活相談員(1)、介護支援専門員(1)、栄養士(1、アルバイト1)、機能訓練指導員(アルバイト2)、事務職員(2)、ケアワーカー(常勤22、短労1、アルバイト3)、看護師(常勤3、短労1、アルバイト1)、その他(アルバイト4) (前年増減) +4 栄養士(アルバイト+1) ケアワーカー(常勤+2、短労+1) 看護師(短労+1) その他(アルバイト-1)

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	63,850,690	81,134,680	109,785,937	109,785,937
	利用料金収入	241,163,000	220,759,908	241,771,000	235,336,895
	その他収入（利用者等外給食費収入等）	5,112,310	16,063,207	4,828,063	6,878,395
	計	310,126,000	317,957,795	356,385,000	352,001,227
支出	人件費	202,213,000	205,279,855	251,429,000	222,420,749
	光熱水費	15,038,000	13,452,429	14,673,000	15,529,960
	維持管理費（委託料・賃借料）	44,152,000	39,982,984	39,317,000	39,031,126
	修繕費	1,379,000	1,315,510	1,284,000	1,950,236
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（利用者等外給食費支出等）	47,344,000	47,152,536	49,682,000	41,290,000
計	310,126,000	307,183,314	356,385,000	320,222,071	
収支			10,774,481		31,779,156

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
入所定員（ショートステイ含む）	人	56	56	56	56

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率（特養+ショート）	%	96	95.7	87	91.3
利用人数（特養+ショート）	人	19,600	19,618	17,820	19,048

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況

令和2年度に一度落ち込んだ利用率は例年の水準に向けて回復に向かっており、介護報酬収入の増により収支面についても令和2年度より改善している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令の遵守、事業計画書の策定等、管理運営は適正に行われている。また、緊急時の連絡体制の整備、地元町会との災害応援協力協定の締結等、危機管理体制の整備も適切に行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	利用者や家族の希望に沿った介護計画を作成しサービスを提供するなど、コミュニケーションを円滑に図り運営している。新型コロナウイルス感染症防止対策による面会制限等を継続しつつも、利用率、利用人数増を達成できた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の管理委託点検結果の確認や、職員による日常巡回・定期巡回を行い、異常箇所の早期発見及び早急な修繕を行うなど、適切な処置に努めている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	満足度調査の自由意見においても感謝の言葉が多く見られ、福祉施設として良好な運営がなされている。調査結果に寄せられた要望等についても、日々の運営に積極的に生かせるよう取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	光熱水費や修繕料等の経費は令和2年度より高くなっているものの、利用率改善により利用料金収入が増加しており、適切な予算執行がなされている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>令和3年度のサービス利用率は目標値の96%には満たなかったものの、令和2年度に比べ改善している。また、利用率の改善により利用料金収入が増加したことから、資金収支についてもプラスとなった。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>なし</p>